

# ステップアップ!!

〈大学入試編〉



本日1月23日から国公立大学2次試験への出願が始まりました。この注意点をみていきましょう。

▽前期・後期(公立大学中期)日程確認と出願  
前・(中)・後期でそれぞれ1校のみ出願ができるので、2回(もしくは3回)の受験チャンスがあります。ただし、大学・学部によっては前期のみ、ということもあります。

▽センター試験・個別試験の科目と配点に注意  
国公立大学の入試は「センター試験」+「2次試験(個別学力検査等)」で合否が決定されます。大学・学部や前期・後期日程に

12年度から後期日程も実施する大学・学部もあります。なお前・(中)・後期すべて同時出願です。

また前期日程の試験に合格し、所定の期日(3月15日)までに入学手続きを完了すると、(中)・後期日程に出願し、受験しても合格できないので、注意してください。

**A. 細かな点は必ず募集要項で確認を!**

## Q. 国公立2次出願の注意点は?

### 今週のポイント

- ・国公立大の受験チャンスは2回(もしくは3回)
- ・横浜国大経営、横浜市大国際教養系は、センター試験重視
- ・出願は必ず出願大学の要項で確認し、期間内に到着するように

より、その配点比率や受験科目が大きく異なることが多いです。

表は、センター試験と2次試験の配点比率の例です。大学・学部によりどちらを重視するか異なります。地元の横浜国立大学経営、横浜市立大学国際教養系などは、センター試験重視になっています。

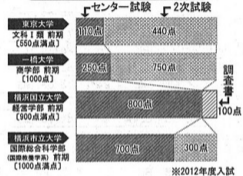
第1志望大学に照準を合わせて勉強してきたと思いますが、センター試験の自己採点結果で出願大学を新たに検討する必要がある場合があります。注意が必要で

2月1日(水)までに必ず大学に到着するように出願してください。所定の出願用封筒を使用する」「書留速達で郵送する」など大学によって細かな指定が出されています。また、2月1日以降に出願書類が到着したときの対応も大学によって異なります。

横浜国立大学の場合、2月2日(木)正午までに到着した出願書類で、かつ、1月31日(火)までの発信局消印のある書留速達郵便に限り受理されます。必ず出願大学の要項で確認する必要があります。この期間内に到着するように出願してください。

前期試験まであと1カ月。体調管理を万全にし、2月25日には最高のコンディションで試験に臨んでください。

### 国公立大入試配点比率の例



前期試験まであと1カ月。体調管理を万全にし、2月25日には最高のコンディションで試験に臨んでください。

(C) GCG 高等館東進衛星予備校